

# まちの話題



## 姉妹で受賞 MOA美術館児童作品展

「第5回MOA美術館児童作品展in九州国立博物館」で福地小5年の舌間結香さん、同校3年の絢香さんが九州国立博物館賞を受賞しました。

結香さんの作品「光るびわ」は、家の庭に生ったびわの実を描いたもので、びわの立体感が濃淡のグラデーションで見事に表現されています。絢香さんの「おいしい季節」は祖母の畑で収穫した丸々した大根と、大好きだというオレンジとすももが配置された色鮮やかな作品です。どちらも背景のテーブルクロス表現に、丸めたラップをスタンプして工夫しています。

結香さんは「受賞して嬉しい。でもまだ上の賞があるので、それを目指したい」と話し、「今後はいろいろな動物や植物を描いていきたい」と意欲を見せました。野菜の葉を描くのに苦労したという絢香さんも「出来栄には満足していない。次は葉の野菜にもチャレンジしたい」と話しました。



ふたりの報告に対して市長は「果物も野菜も本当においしそうで、よく描けている。ぜひ、また賞をもらって報告に来てほしい」と激励しました。

## 直方の新名所に「ふるさと直方」

美しいまちづくりに取り組む「直方健活会」により、殿町交差点横に版画壁画「ふるさと直方」が設置されました。

原画は市内で活動されている版画家 野見山朋子さんの版画「なつかしい直方駅」で、石炭輸送の拠点であり近代産業の礎となった直方駅の作品です。

同会の松本会長は「ふるさとを大切にしたい」と思いを語りました。福智山と遠賀川を見渡せる絶景スポットです。ぜひご覧ください。



## 児童がフィンランドと交流

2月25日、直方西小学校とフィンランド共和国をZoomのオンライン会議でつなぎ、社会や組織を変革する力を養うことを目的とした起業家教育（アントレプレナーシップ教育）の成果発表会を行いました。市と九州大学が連携して同小6年生の20人に2日間の授業を行い、児童にフィンランドや仕事についての理解を深めてもらい、フィンランドの人が訪れたいと思うお店（ビジネスプラン）をチームごとに考えてもらいました。

発表会では、児童が北欧の雪対策のための商品や直方名物の食べ物について英語で紹介。「価格や商品の説明がビジネスの形になっている」「ご当地の商品を紹介してくれたのが嬉しい」と英語による返事がありました。それを聞いた児童は「何となく褒められたのはわかった」と嬉しそうに話しました。授業の最後には、サプライズプレゼントとして、児童が庚申太鼓の演奏を披露しました。



## はばたく中小企業に選定

中小企業庁により、コロナ禍においても先進的な取組にチャレンジし、成果を出している企業として、「はばたく中小企業・小規模事業者300社2021」に、直方市の2企業が選定されました。

選定されたのは、半導体等の電子部品のめっき加工や研削、研磨工程等を主力事業としているアスカコーポレーション株式会社と、主に携帯電話やPC等のコネクタに係る超精密金型を製造している株式会社コスモツールです。

両社は、高齢化や人手不足等の課題をITサービス導入や経営資源の有効活用等により解決するという、生産性向上に資する取り組みを高く評価されての受賞となりました。

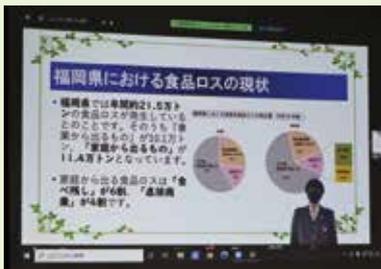
## 高校生が環境への取り組み発表 環境サミット開催

市では市民の皆さん、事業者の皆さんと一体となって「環境先進都市」を目指していきます。

2050年に社会の中心を担う市内4校（鞍手高校・筑豊高校・直方高校・大和青藍高校）の高校生が、様々な環境問題への取り組みについて発表する「直方市環境サミット」が2月26日にウェブ開催されました。

鞍手高校はワンヘルスの推進に触れ、シカやイノシシなどの野生動物の被害が拡大していることに対して、適切な駆除とジビエ料理の調理実習を提案。筑豊高校は地域活性化プロジェクトとして、シャッターアート提案や観光ガイドの実施、防災マップやハザードマップの作成を発表。直方高校の自然科学同好会は、遠賀川水辺館のビオトープに発生した外来植物のウチワゼニクサの駆除に取り組んだ活動成果を発表。大和青藍高校は食品ロスへの取り組みとして、調理科での調理実習での廃棄食品を活用した料理の提案を行いました。どの発表も、身近にできることを継続して行うことで、環境問題の解決に繋げる素晴らしい発表で、コメンテーターの近畿大学依田教授は「専門的な発表の場でも評価される内容。これからも継続してほしい」と講評しました。

4校の発表を受け、市長は「大きな目標に対して持続可能な行動を起こしてもらいたい。若い人の気づきを広めてほしい」と若い世代へのエールを送るとともに、市と市民の皆さんが手を取り合い環境問題に取り組んでいきたいと語りました。



発表の様子は市ホームページ、市公式YouTubeでも配信しています。高校生の熱意ある発表をぜひご覧ください。

## 脱炭素社会を目指して

本市は、緑豊かな福智山と南北に流れる遠賀川・彦山川など、美しい自然に恵まれた水と緑があふれるまちです。しかし近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動や異常気象の影響により、世界規模で深刻な自然災害が多発しています。この「気候危機」と言うべき状況に対策を講じなければ、今後も深刻な大規模災害が起こることが予測できます。また、気温の変化に伴い、農作物や水産物にも影響が出始めています。

地球温暖化防止の取り組みは世界中での課題となり、二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「脱炭素社会」の実現に向けた取り組みが世界規模で進められています。

本市は2月26日、市民や事業者の皆さまのあらゆる賢い選択の積み重ねにより、ライフスタイルを維持しつつ、二酸化炭素の排出量を全体としてゼロとする「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。



市のホームページでは、この他の話題も公開しています。